

目 次

序論 文章構成研究の起源としての「言語活動」

—言語研究の対象定位を巡る問題—

1. はじめに.....	7
(1) 「質的研究」の拡大と深化	7
(2) テクスト概念の普及と拡大	10
(3) 回帰する問題の圏域	12
2. 普遍的言語（ラング）と個別的言語（パロール）	
—ソシュールの言語観の両義性——.....	13
(1) ソシュール再評価の焦点	13
(2) ソシュールによる言語学研究の対象定位の原像.....	16
3. 「ゲシュタルト（構造）」と「場」の思想	
—研究対象の措定における言語観の役割—.....	25
(1) 2種類の構造概念.....	26
(2) 構造を記述するという両義性	29
(3) 佐久間の「場」の概念における言語活動.....	32
(4) ビューラーの言語観による三つの方向と二項モデル	35
4. 研究対象の定位における「パラダイム」	40
5. おわりに—本研究の課題.....	49
凡例.....	52

第1章 テクスト研究の基礎と発展 I

—欧米でのテクスト研究の対象定位と方法—

1. はじめに.....	55
2. 欧米のテクスト研究史概観.....	56
(1) 多様化し拡大する欧米のテクスト研究の領域とテーマ.....	57
(2) テクスト研究の起源	59
3. 欧米のテクストの言語思想の黎明と発展.....	66
(1) マリノフスキイのコンテクストの概念	66
(2) プラーグ学派の思想—マテジウス・ヤーコブソン.....	72
2-1 マテジウスの「文の実勢的構成」	73
2-2 ヤーコブソンのコミュニケーションの概念	77

(3) ハリディー&ハサンの体系機能文法	81
4. おわりに—「テクスト」概念の整理.....	85

第2章 テクスト研究の基礎と発展 II

—日本でのテクスト研究の対象定位と方法—

1. はじめに.....	89
2. テクスト黎明期の研究—20世紀前半の日本の言語思想—.....	89
(1) 橋本進吉の業績とそれに続く日本語学の流れ	90
1-1 橋本進吉の業績.....	90
1-2 寺村秀夫の業績.....	94
1-3 橋本と寺村から学ぶべきこと	97
(2) 時枝誠記の業績	98
2-1 時枝の言語過程説の意義	98
2-2 時枝の質的統一体の意義	104
2-3 時枝の『文章研究序説』の意義	107
(3) 佐久間鼎と三尾砂の言語思想	112
3-1 佐久間鼎の文分類とその方法	112
3-2 三尾砂の文分類とその方法	114
3-3 佐久間の三つの場	118
3-4 20世紀前半の日本語研究の言語思想の意義	121
3. テクスト発展期の文章研究の流れ	123
(1) 永野賢の文章論	125
(2) 永尾章曹の表現論	129
4. テクスト拡大期の研究	133
5. おわりに.....	138

第3章 メディア・テクスト研究の課題と意義

—日本語教育における新聞記事活用とその分析方法—

1. はじめに.....	143
2. 新聞報道記事の社会的評価とその問題点	143
(1) メディアのニュースへの評価	143
(2) メディアの基本機能に対する社会的評価とその問題点	148
(3) 日本語教育における新聞メディア利用の現状と課題	154

(4) 新聞報道記事をめぐる日本語教育での研究課題	160
3. 日本の新聞報道記事に関する研究の現状	165
(1) 新聞報道記事の質 —ジャーナリズム論・メディア論の客観報道からの視点	165
(2) 新聞報道記事の相 —批判的談話分析(CDA)・ジェンダー論からの視点	169
(3) 新聞報道記事の形 —談話分析・文章論およびレトリックからの視点	172
4. おわりに—本研究の研究対象	177

第4章 新聞報道記事の文型とその文章構成

—モダリティーとレトリックから見た「客観報道」—

1. はじめに	181
2. 言語研究から見た「客観報道」への視点	184
(1) 陳述・モダリティーおよびの文章論・表現論の文分類	184
(2) レトリックの視点	189
3. 『毎日新聞』の報道記事の基本的文章構成	194
(1) 資料	195
(2) 調査の方法と結果	195
(3) 結果と考察	198
3-1 記事の選択	198
3-2 文型の選択から見た報道記事の客観性	199
3-3 レトリックから見た報道記事の客観性	205
4. おわりに	218

第5章 新聞報道記事のレトリック分析

—『読売』『朝日』両紙の一面記事の文章構成—

1. はじめに	223
2. レトリック分析の手法	226
3. 『朝日新聞』と『読売新聞』のレトリック分析	230
(1) 資料	230
(2) 記事概要	230
(3) 概要調査とレトリック分析の結果	232

3-1 記事概要から浮かぶ両社の違い	232
3-2 両社記事のレトリック分析	233
3-3 真偽判断の不能	235
3-4 「多重」のレトリック	236
3-5 「対照」のレトリック	237
3-6 「付加」のレトリック	238
3-7 慣用的表現の比喩	239
3-8 レトリック分析の結果	240
4. おわりに	242

第6章 新聞報道記事の見出しの表現的特徴

—「客観性」に対するレトリック分析—

1. はじめに	245
2. 見出しに関するレトリック分析の方法	247
3. 『毎日新聞』の一面報道記事の見出し	248
(1) 調査項目と結果	248
(2) 見出しの表現的特徴の考察	252
2-1 見出しの配置、見出しの構成、記事の比重	252
2-2 補填型での内容から見た見出しの内容の順序	253
2-3 「事実」を指向している見出し	254
(3) 「客観性」に問題のある見出し	255
3-1 「事実」かどうか分からぬ内容の見出し	255
3-2 レトリック技法・比喩を使用している見出し	256
4. 『朝日新聞』の一面報道記事の見出し	260
(1) 調査項目と結果	260
(2) 見出しの表現的特徴の考察	262
2-1 見出しの配置、見出しの構成、記事の比重	262
2-2 補填型での内容から見た見出しの内容の順序	262
2-3 「事実」を指向している見出し	263
(3) 「客観性」に問題のある見出し	264
3-1 「事実」かどうか分からぬ内容の見出し	264
3-2 レトリック技法・比喩を使用している見出し	265
5. 『読売新聞』の一面報道記事の見出しと『毎日』『朝日』の見出しとの「客	

観性」に関する表現技法の比較	267
(1) 調査項目と結果	267
(2) 『読売』と両社の見出しに関する表現特徴の比較	269
2-1 見出しの配置、見出しの構成、記事の比重	269
2-2 補填型での内容から見た見出しの順序	270
2-3 「事実」を指向している見出し	272
(3) 「客觀性」に問題のある見出し	272
3-1 「事実」かどうか分からぬ内容の見出し	272
3-2 レトリック技法・比喩を使用している見出し	274
6. 各紙の報道記事の見出しの表現技法分析の結果に関する考察	277
(1) 見出しに関する表現意図が潜在する形式	277
(2) 見出しの「客觀性」に関する表現の判定基準	280
7. おわりに	281

第7章 見出しの「引用」「意見」「レトリック」の表現技法 —日本語教育教材化における読解ポイントの解明—

1. はじめに	285
2. 見出しに関するレトリック分析の方法	287
3. 三紙の報道記事の見出しの表現技法	289
(1) 調査項目	289
(2) 「客觀性」に問題を起こす 可能性のある表現技法を用いている見出し	290
2-1 真偽判定不能な表現を用いている場合 —形容判断表現の使用／判断内容の提示	290
2-2 引用に問題のある場合 —有標引用の典拠不一致／無標引用の典拠不一致・不存在／ 有標・無標引用の真偽判定不能	293
2-3 レトリックを用いている場合	296
2-3.1 比喩を用いている場合—慣用句の使用／新たな比喩の提示	297
2-3.2 各種レトリックを用いている場合—記号の操作／布置の操作	299
(3) 「客觀性」に問題の少ない見出し	302
4. 三社における見出しの表現技法の傾向とその特徴	303
(1) 新聞三社の見出しにおける表現技法使用の傾向	303

(2) 見出しの表現技法の質的相違	305
5. おわりに	305
第8章 新聞報道記事の「客観性」におけるジャンル特性	
—「社会的出来事」のテクストへの反映—	
1. はじめに	309
2. メディア・テクスト研究の傾向	311
(1) メディア・テクスト研究の三つの方向	311
(2) 記事の「客観性」とジャンル特性の判定方法	312
2-1 レトリック分析から見た「客観性」	312
2-2 テクストのジャンル特性を捉える方法	314
3. 三紙の報道記事の「客観性」におけるジャンル特性	316
(1) 調査項目	316
(2) 記事での文体位の「客観性」におけるジャンル特性	317
2-1 文型に関する項目「(F)「客観性」に関する問題点」	319
2-2 項目「(D)文型」の問題—「コメント文」のテクスト中での役割	321
2-3 「社会的出来事」としての「発表」	326
4. 社会的出来事から見た新聞報道記事	329
5. おわりに	331
結論 メディア・テクスト研究の拡大と深化を探る	
1. 本研究のまとめ	333
2. メディア・テクスト研究の拡大と深化	341
(1) 文章の基本的類型としてのメディア・テクスト	341
(2) 日本語教育の重層化	342
初出一覧	345
テキスト	348
引用および参考文献一覧	349